

- 交通事業者や観光施設等の連携・協働により**多種多様なモビリティサービスを「一つのサービス」として利用可能とするMaaS**は、輸送資源へのアクセシビリティ向上など**地域交通の利便性を飛躍的に向上させる施策**。
- 国土交通省「日本版MaaS推進・支援事業」では令和元年度から全国のMaaSの取組を支援しており、令和6年度までに52事業を採択。
- 令和7年度からは、**「交通空白」解消等の地域交通の「リ・デザイン」全面展開を加速する**観点から、支援の重点化や伴走支援の強化など事業の運用改善を実施予定。※
※現在審議中の政府予算案を前提としており、今後変更されることがあり得る。

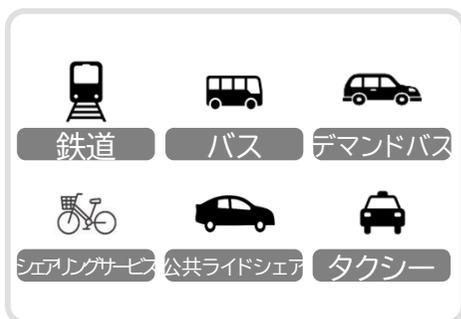
事業概要 (補助対象要件)

以下の施策を一体的に実施することで、移動環境の向上や観光促進による持続可能な地域交通を実現する取組を支援。

① マルチモーダル×シームレスな移動体験の提供

鉄道、バス、タクシー、公共・日本版ライドシェア等の**多種多様な交通モードを「一つのサービス」として広域かつシームレスに利用可能とするMaaSアプリ等のサービス提供**。

マルチモードの参画



事業グループやモードの垣根を越えた地域の交通サービスの連携を重視

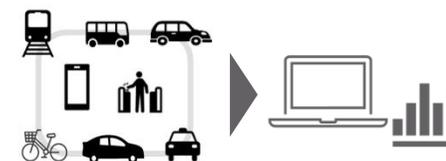
シームレスな移動体験



「快適」で「わかりやすい」交通サービス利用を実現する施策を支援

② モビリティ・データの取得と活用

MaaS等から取得可能な「モビリティ・データ」を活用した**データ分析とこれに基づく計画策定や路線再編等の施策の実施**。



モード横断的な移動実態の把握とデータ活用を支援

③ まちづくりや観光との連携

MaaSの取組を交通利便向上のみならず、まちづくりや観光施策との連携など**地域全体の課題を解決する取組として実施**。



関係者との連携によるMaaSを通じた地域課題解決を重視